社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和07年10月24日

計画の名称	2 府中町中心市街地のにぎわい再生と安全・安心なまちづくり（防災・安全）													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０５年度　(4年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	府中町													
計画の目標	当該地区は、町内唯一の鉄道駅前であるにもかかわらず、都市基盤が脆弱なため、交通結節機能が不十分であり、老朽化した建物が狭隘な道路に接して密集するなど、十分な市街地環境にあるとは言い難い状況にある。また、広島都市圏交通の大動脈であるJR山陽本線が市街地を縦断しており、道路の交通容量不足による慢性的な交通渋滞の発生なども課題となっている。 そこで、土地区画整理事業を実施し、駅前広場や幹線道路の整備による交通結節機能の強化、及び周辺地域との連携と利便性の向上を図り、併せて生活道路や公園など身近な公共施設整備と老朽住宅・商店の更新を促進し、安全・安心で良好な市街地環境を創造する。また、換地手法を用いた市街地整備事業により、関連する事業（広島市東部地区連続立体交差事業）の円滑な事業推進を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,228	A	1,228	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R3末)	(R5末)
1	地区内の新耐震基準（S55）以前の老朽化建物戸数を減少させ、公共用地（延焼遮断帯等の防災空地）率を増加させる。			
	地区内の整備完了道路面積（幹線道路及び駅前広場を除く）を求積する。	13%	29%	36%
2	地区内の宅地整備率を増加させ、居住人口を増加させる。			
	地区内の人口を算定する。	800人	1600人	1700人
3	向洋駅南口からバス停までの障がい者通行経路困難改善項目を4項目から2項目に解消。[①段差の解消、②縦断勾配の緩和、③歩道の確保、④誘導ブロックの設置]			
	向洋駅南口からマツダ前バス停までの障がい者通行経路（歩道）整備により困難項目を改善する。	4項目	3項目	2項目

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
府中町国土強靭化地域計画に要素事業は全て位置付けられている。												

案件番号：　0000691304

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	府中町	直接	府中町	－	－	向洋駅周辺土地区画整理事業	都市再生区画整理　12.2ha	府中町	■	■	■	■		876		－
											小計						876		
											合計						876		

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
府中町	令和７年度
	公表の方法
	町ホームページで公開します。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	広島市東部地区連続立体交差事業(事業主体：広島県・広島市)の事業認可再取得を受け、土地区画整理事業の事業施行期間を令和15年度末まで10年延伸する必要があり、事業計画に変更が生じたことから最終目標値には至らなかったが、街区道路の整備を進め、公共用地率は当初現況値13%から最終実績値15%に増加し、延焼遮断帯となる防災空地の整備を進めた。 先行して高層建築物用地を整備したことにより、地区内居住人口は、当初現行値800人から最終実績値1,500人に増加し、市街地のにぎわいを創出した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	向洋駅南口西側街区の一体的な整備に向けて物件移転を進め、従前地の新耐震基準以前の老朽建築物が12ポイント減少し、安全・安心で良好な市街地環境の整備を進めた。

○特記事項（今後の方針等）

関連事業である広島市東部地区連続立体交差事業の事業認可再取得を受け、土地区画整理事業の事業計画に変更が生じたことから、最終目標値には至らなかったが、引き続き広島市東部地区連続立体交差事業との事業調整を図り、次期計画において、向洋駅周辺地区のにぎわい創出及び安全・安心で良好な市街地環境の整備を推進していく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	公共用地率		
	最　終 目標値	36%	広島市東部地区連続立体交差事業の事業認可再取得を受け、土地区画整理事業の事業計画に変更が生じたことから、最終目標値には至らなかった。向洋駅南口の西側街区の一体的な整備に向けて物件移転を進めており、引き続き次期計画において、計画的に整備を進めたい。
	最　終 実績値	15%	
2	地区内居住人口		
	最　終 目標値	1700人	広島市東部地区連続立体交差事業の事業認可再取得を受け、土地区画整理事業の事業計画に変更が生じたことから、最終目標値には至らなかった。先行して高層建築物用地を整備したことにより、地区内居住人口は、当初現行値800人から最終実績値1,500人に増加した。
	最　終 実績値	1500人	
3	障がい者通行経路困難改善項目		
	最　終 目標値	2項目	広島市東部地区連続立体交差事業の事業認可再取得を受け、土地区画整理事業の事業計画に変更が生じたことから、最終目標値には至らなかった。引き続き関連事業である広島市東部地区連続立体交差事業との事業調整を図り、次期計画において整備を進めたい。
	最　終 実績値	4項目	